

2014年1月30日

各位

オリックス株式会社  
(コード番号: 8591)

**2014年3月期 第3四半期連結決算(4月～12月)**  
**当期純利益は前年同期比31%増の1,182億円 5期連続増益**

2014年3月期第3四半期(2013年4月1日～2013年12月31日)の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比24%増の9,656億円、税引前当期純利益は同33%増の1,793億円、当期純利益は同31%増の1,182億円と、前年同期と比較して5期連続で増益となりました。

なお、当期純利益は、通期の連結業績目標1,450億円に対しておよそ82%の進捗と、好調に推移しています。

■ 主な経営指標の推移

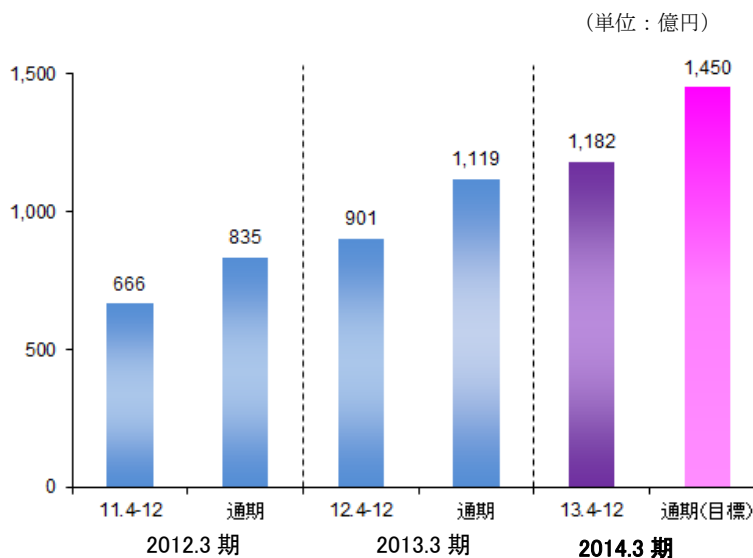
	2012. 4-12	2013. 4-12	増減率
営業収益	7,812 億円	9,656 億円	24%
税引前当期純利益	1,349 億円	1,793 億円	33%
当期純利益 (※1)	901 億円	1,182 億円	31%

	2013. 3	2013. 12	増減率
総資産	84,397 億円	86,736 億円	3%
セグメント資産 (※2)	63,827 億円	70,290 億円	10%
株主資本 (※3)	16,436 億円	18,423 億円	12%
株主資本比率 (※3)	19.5%	21.2%	—

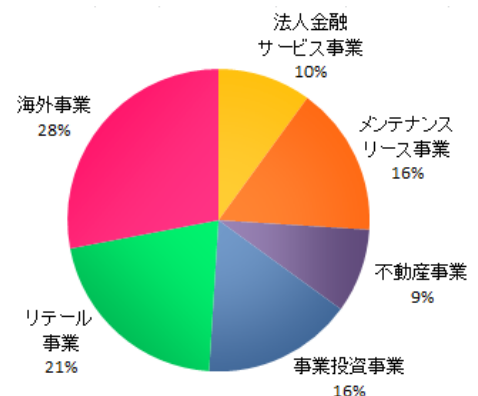
(※1・3)「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

(※2)「セグメント資産」は、当第2四半期より企業統合に伴う営業権・その他の無形資産を含めて計上しています。この変更により、過年度についても組替再表示しています。

『当期純利益の推移』



『当第3四半期のセグメント利益内訳』



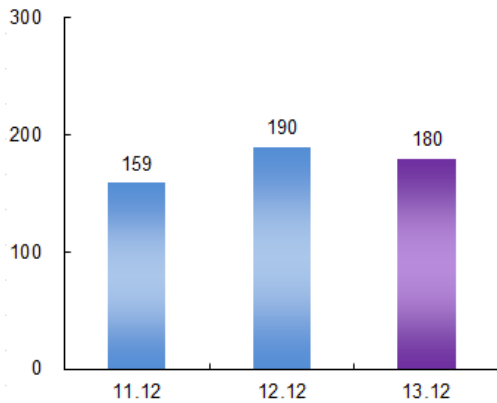
## ■ 各セグメントの業績概要（2013年4月1日～2013年12月31日）

当第3四半期累計期間では、「海外事業部門」がロベコの連結子会社化もあり、業績を牽引しました。また、「不動産事業部門」において前年同期に比べて利益が大きく増加するとともに、「メンテナンスリース事業部門」「リテール事業部門」も高い利益水準で推移しました。

### 【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

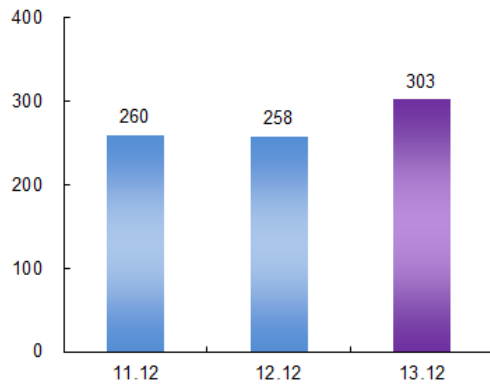


- ・ファイナンス・リース収益は、資産の増加に伴い堅調に推移。
- ・営業貸付金の残高減少に伴い、貸付金収益が減少。
- ・セグメント利益は、前年同期比 6%減の 180 億円を計上。

### 【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

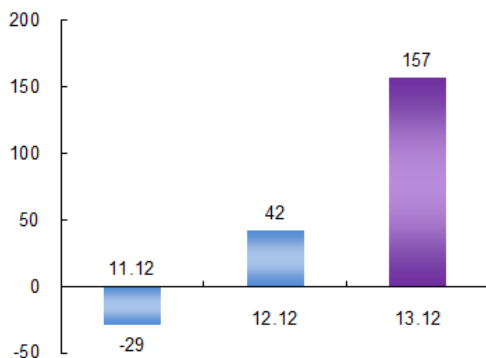


- ・コスト削減などの企業ニーズに対応した高付加価値サービスを提供し、収益は高水準で安定推移。
- ・オペレーティング・リース資産残高ならびにオペレーティング・リース収益が好調に伸長。
- ・セグメント利益は、前年同期比 17%増の 303 億円を計上。

### 【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

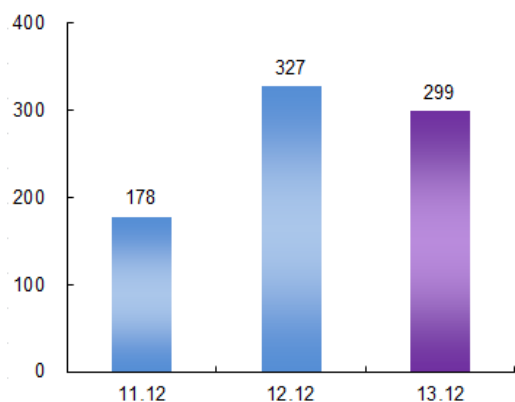


- ・運営事業収益や手数料収益が増加。
- ・賃貸不動産の売却益が増加。
- ・セグメント利益は、前年同期 3.8 倍の 157 億円を計上。

## 【事業投資事業部門】

環境エネルギー関連、サービサー（債権回収）、プリンシパル・インベストメント

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

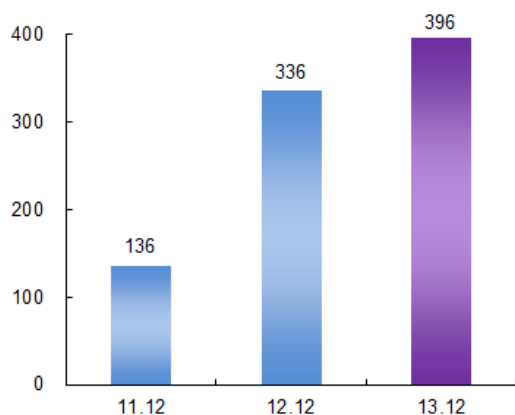


- ・ 前期に投資実行し連結子会社化した事業会社からの収益が増加。
- ・ 環境エネルギー関連事業への新規実行高が増加し、資産残高が順調に増加。
- ・ セグメント利益は、前期にサービサー事業の大口回収益やおぞら銀行の株式売却益を計上したこともあり、前年同期比 9%減の 299 億円を計上。

## 【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

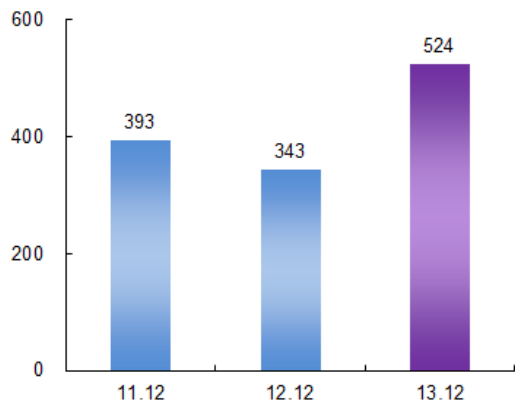


- ・ 生命保険事業は、保有契約数の伸長による保険料収入の増加に加え運用収益が順調に伸長。
- ・ 銀行事業は、貸付金収益が堅調に推移。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 18%増の 396 億円を計上。

## 【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）



- ・ ロベコの連結子会社化に伴うアセットマネジメント収入が増加。
- ・ アジアのリース収益や航空機のオペレーティング・リース収益が堅調に推移。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 53%増の 524 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 堀井・石井 TEL : 03-3435-3167